

第72期

報 告 書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

名糖産業株式会社

目 次

株主の皆様へ	1
連結業績の推移	5
連結財務諸表	
連結貸借対照表	6
連結損益計算書	7
連結株主資本等変動計算書	8
連結キャッシュ・フロー計算書	8
個別業績の推移	9
個別財務諸表	
個別財務諸表（要約）	10
個別株主資本等変動計算書	11
会社の概要、株式の状況、役員	12

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜わり厚く御礼申しあげます。

さて、当社第72期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の営業の概況につきましてご報告申しあげます。

<企業集団の事業の経過およびその成果>

当連結会計年度におけるわが国経済は、円安により輸出環境が改善するとともに、株価の上昇や消費税率引き上げ前の駆け込み需要などにより消費意欲が高まり、景気の緩やかな回復が進みました。しかし、原材料価格・エネルギーコストの上昇や新興国経済の減速、加えて消費税率引き上げ後の需要の反動減など、企業収益の先行きに対する懸念材料も残りました。

当社グループの中核事業の一つである菓子・食品の市場におきましては、食品の品質や安全性に対する消費者意識が高まる一方で、大衆商品に対する消費者の節約志向が根強く企業間の低価格競争が激化して、厳しい事業環境が続きました。

こうした情勢のもと、当社グループは、商品の安全性確保と品質の向上に引き続き注力するとともに、お客様のニーズを的確に捉えた高付加価値商品の提供ならびに積極的な販売促進活動を推し進めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、前半は厳しい低価格競争により苦戦が続きましたが、後半は需要が回復して前連結会計年度比0.4%増の19,302百万円となりました。営業損益につきましては、事業の効率化やコストの削減に努めましたが、原材料価格の上昇に加え、割引率の低下に伴う退職給付費用の一時的な増加などにより、545百万円の損失となりました。なお、前連結会計年度は192百万円の営業損失でありました。また、経常利益は営業外収益の増加などにより、前連結会計年度に比べ4倍強の129百万円となりました。当期純損益につきましては、連結子会社の株式会社エースペーカーの繰延税金資産を取崩して293百万円を法人税等調整額に計上しました結果、261百万円の純損失となりました。なお、前連結会計年度は47百万円の純利益でありました。

<企業集団のセグメント別業績>

食品事業

当連結会計年度におきましては、主力の菓子部門は各種の新商品やリニューアル商品を投入して営業施策を積極的に展開しました結果、年度後半に

売上を挽回して増収となりました。チョコレート類は、主力ブランドの「アルファベットチョコレート」や「ナッツチョコレートコレクション」などのファミリータイプの商品が好調に推移し、増収となりました。しかし、キャンディ類は、苦戦を強いられ減収となりました。

粉末飲料部門は、「レモンティー」や「しょうが紅茶」などが企業間の販売競争激化の影響を受けて落ち込み、減収となりました。

また、主として九州地区で製造・販売している冷凍部門は、販売促進活動を展開して需要の掘り起こしを図ったところ、若干の増収となりました。

そのほか、株式会社エースペカーは、積極的な商品提案や営業活動に取り組みました結果、主力のパウムクーヘン類は前連結会計年度を下回りましたが、ゼリー類が好調に推移して、増収となりました。

これらの結果、食品事業の売上高は前連結会計年度に比べ6百万円増の16,920百万円となりました。営業損益につきましては、原材料価格の上昇ならびに退職給付費用の一時的な増加などにより、39百万円の損失となりました。なお、前連結会計年度は335百万円の営業利益でありました。

化成事業

酵素部門につきましては海外を主な市場としており、国外企業との販売競争が激化しておりますが、円安の追い風を受けるなかでグローバルな営業活動を展開しました結果、チーズ用凝乳酵素「レンネット」、脂肪分解酵素「リパーゼ」はともに好調に推移して増収となりました。

しかし、薬品部門につきましては、MRI（磁気共鳴画像）診断用肝臓造影剤『リゾビスト』の原薬「フェルカルボトラン」や医薬品、X線フィルムなどの原料用の「デキストラン」の減少が影響して、減収となりました。

これらの結果、化成事業の売上高は前連結会計年度に比べ4.7%増の2,077百万円となり、営業損益につきましては、減価償却費の負担に加え販売品目構成の影響などにより8百万円の損失となりました。なお、前連結会計年度は17百万円の営業損失でありました。

不動産事業

不動産事業につきましては、平成24年12月に持分法適用会社との工場の賃貸契約が終了したことなどにより、売上高は前連結会計年度に比べ4.2%減の304百万円となり、営業利益は前連結会計年度に比べ2.9%減の119百万円となりました。

<設備投資および資金調達の状況>

当連結会計年度の設備投資総額は740百万円で、主なものは名古屋工場におけるチョコレート製造設備の更新ならびに小牧工場における太陽光発電設備の新設などです。これらに必要な資金は、自己資金および金融機関からの借入金により調達いたしました。

<対処すべき課題>

当社グループを取り巻く環境は、国の経済政策による景気回復が期待されるものの、原材料価格やエネルギーコストの上昇が続くなかで、低価格競争が加速すると予想されるなど、先行きは厳しい状況が続くものと懸念されます。また、消費者の健康への関心や安全性志向がますます高まるなかで、食品の安全性や品質の向上への取り組みが一層強く求められております。

このような状況のもと、当社グループは、お客様に喜ばれ満足いただける安全・安心で高品質な商品を提供するとともに、生産性の向上やコスト削減を進めて強靱な企業体質の確立と収益力の向上に努めることにより、企業の持続的な発展と企業価値の増大を目指してまいります。具体的な取り組み課題は以下のとおりであります。

* 食品事業につきましては、原材料価格が上昇するなかで、消費者の生活防衛による買い控えや商品の店頭価格の下落が続くという厳しい環境下にあります。消費者の多様化したライフスタイルや価値観にお応えするため、市場環境を見据えた商品開発および販売戦略に取り組んでまいります。これらにより、低価格競争にさらされない高付加価値商品の提供と売上規模の拡大を推進してまいります。同時に「アルファベットチョコレート」や粉末飲料の「レモンティー」、また連結子会社である株式会社エースベーカリーの「厚切りバウムクーヘン」などの中核ブランドのさらなる強化はもとより、グループ各社の連携を一段と強めてシナジー効果を最大限に発揮して、食品事業の強化と拡大を目指してまいります。また、高齢化社会で介護食などの栄養食品の需要が高まるなか、栄養食品部門を新たな成長の柱に育ててまいります。平成22年に新工場を稼働させた株式会社エースベーカリーにおきましても、お客様の要望にお応えできる商品開発と精力的な営業活動を推進して、収益力の向上に努めてまいります。さらに当社グループは、原材料や商品の安全性はもとより、品質管理や生産体制を一層強化して、お客様に安心してお買

い上げいただける高品質な商品をお届けできますよう注力してまいります。

* 化成品事業の酵素部門につきましては、主力商品であるチーズ用凝乳酵素「レンネット」の海外各国での積極的な営業活動を通じて、長い使用実績のある既存商品の市場拡大と本格的に採用が始まった改良次世代商品のさらなる普及を図り、販売シェアの拡大に努めてまいります。また、脂肪分解酵素「リパーゼ」やリン脂質製造用酵素「ホスホリパーゼ」の性質改良と新規用途開発を促進することによって、これらの商品の販売拡大に注力してまいります。さらに新たな市場と販路の開拓を目指して「レンネット」や「リパーゼ」とは異なる新しい酵素商品の開発にも取り組んでまいります。

薬品部門では、MRI（磁気共鳴画像）診断用肝臓造影剤『リゾピスト』の原薬「フェルカルボトラン」を始めとする「デキストランマグネタイト」の特徴と製造技術を活かし、乳癌転移検出等への用途拡大を促進するとともに、新たな造影法で使用する磁性体の開発にも取り組んでまいります。また、医薬品などの原料である「デキストラン」の品目拡充と食品用など新規用途の開拓、および「デキストラン」から合成したデキストラン誘導体の品目拡充による化粧品素材や臨床検査用試薬などでの供給拡大も推進してまいります。さらに混合飼料「ヘルシーフレンド」および、その次世代品の用途開発と販売促進にも引き続き取り組んでまいります。また、いずれの分野でも国内外からの安全に対する要請が強まっており、生産性の向上とともに、生産管理、品質管理基準の向上にも取り組み、事業基盤の強化に努めてまいります。

今後とも時代の変化に対応し、お客様に信頼され社会に貢献できる企業として継続的に発展するよう、全社を挙げて努力する所存であります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご指導とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成26年6月

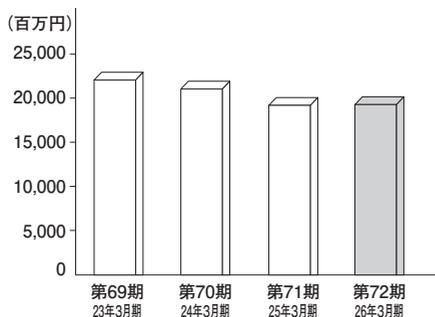
代表取締役社長 小 島 寛 志

連結業績の推移

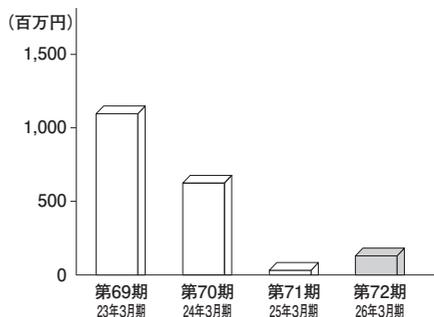
区 分	第 69 期 (平成23年 3 月期)	第 70 期 (平成24年 3 月期)	第 71 期 (平成25年 3 月期)	第72期(当期) (平成26年 3 月期)
連結売上高(百万円)	22,088	21,069	19,216	19,302
連結経常利益(百万円)	1,096	624	31	129
連結当期純利益または 当期純損失(△)(百万円)	708	377	47	△261
連結ベースの1株当たり当期純利益 または当期純損失(△) (円)	42.13	22.46	2.85	△15.57
連結総資産(百万円)	44,230	43,627	45,850	46,687
連結純資産(百万円)	30,744	31,172	33,378	34,254

(注) 連結子会社3社
株式会社エースベーカー、名糖乳業株式会社、プリンスゴルフ株式会社
持分法適用会社1社
名糖アダムス株式会社

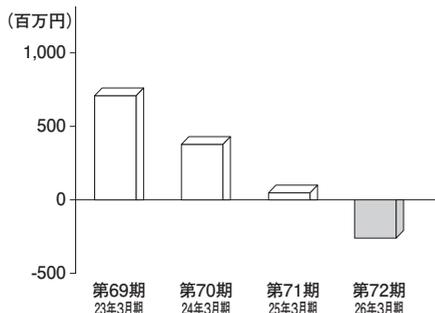
連結売上高



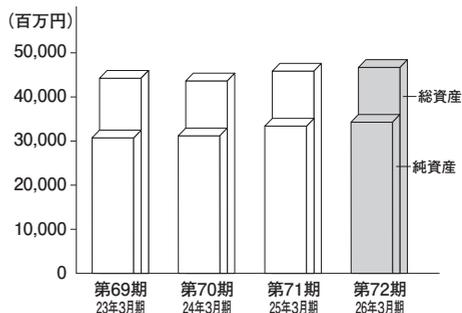
連結経常利益



連結当期純利益



連結総資産／連結純資産



連結財務諸表

連結貸借対照表 (平成26年 3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	9,609	流動負債	5,306
現金及び預金	2,253	支払手形及び買掛金	2,078
受取手形及び売掛金	4,023	短期借入金	500
有価証券	1,199	1年内返済予定の長期借入金	914
商品及び製品	739	未払金	113
仕掛品	355	未払費用	1,504
原材料及び貯蔵品	802	未払法人税等	5
繰延税金資産	177	返品調整引当金	8
その他	77	その他	181
貸倒引当金	△19	固定負債	7,125
固定資産	37,077	長期借入金	1,007
有形固定資産	11,526	繰延税金負債	3,542
建物及び構築物	4,762	役員退職慰労引当金	14
機械装置及び運搬具	3,458	退職給付に係る負債	2,267
工具器具及び備品	82	その他	292
土地	3,179	負債合計	12,432
建設仮勘定	42	(純資産の部)	
無形固定資産	72	株主資本	25,907
投資その他の資産	25,479	資本金	1,313
投資有価証券	25,361	資本剰余金	76
長期貸付金	24	利益剰余金	33,064
繰延税金資産	2	自己株式	△8,546
その他	164	その他の包括利益累計額	8,092
貸倒引当金	△73	その他有価証券評価差額金	8,077
		退職給付に係る調整累計額	14
		新株予約権	254
資産合計	46,687	純資産合計	34,254
		負債・純資産合計	46,687

連結損益計算書 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金	額
売 上 高		19,302
売 上 原 価		13,770
売 上 総 利 益		5,532
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		6,077
営 業 損 失		545
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	429	
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	131	
そ の 他	172	734
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	27	
そ の 他	31	58
経 常 利 益		129
特 別 利 益		
投 資 有 価 証 券 売 却 益	63	63
特 別 損 失		
投 資 有 価 証 券 評 価 損	44	
製 品 回 収 廃 棄 損	17	61
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益		131
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	87	
法 人 税 等 調 整 額	305	393
少 数 株 主 損 益 調 整 前 当 期 純 損 失		261
当 期 純 損 失		261

連結株主資本等変動計算書 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本					その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当 期 首 残 高	1,313	76	33,662	△8,544	26,507	6,640	—	6,640	230	33,378
当 期 変 動 額										
剰余金の配当			△336		△336					△336
当期純損失(△)			△261		△261					△261
自己株式の取得				△2	△2					△2
自己株式の処分			△0	0	0					0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						1,437	14	1,452	23	1,476
当期変動額合計	—	—	△597	△2	△599	1,437	14	1,452	23	876
当 期 末 残 高	1,313	76	33,064	△8,546	25,907	8,077	14	8,092	254	34,254

連結キャッシュ・フロー計算書 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

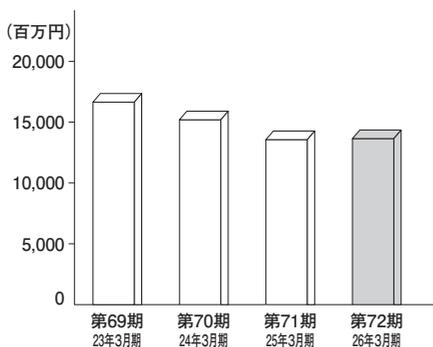
(単位：百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,553
投資活動によるキャッシュ・フロー	△424
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,387
現金及び現金同等物に係る換算差額	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△257
現金及び現金同等物の期首残高	2,488
現金及び現金同等物の期末残高	2,230

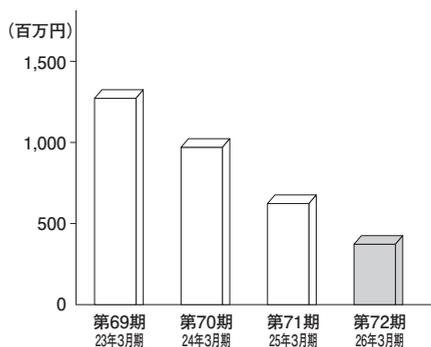
個別業績の推移

区 分	第 69 期 (平成23年 3 月期)	第 70 期 (平成24年 3 月期)	第 71 期 (平成25年 3 月期)	第72期(当期) (平成26年 3 月期)
売 上 高 (百万円)	16,613	15,161	13,528	13,612
経 常 利 益 (百万円)	1,271	969	622	371
当期純利益または 当期純損失 (△)(百万円)	903	607	575	△330
1 株当たり当期純利益または 当期純損失 (△) (円)	53.72	36.14	34.22	△19.66
総 資 産 (百万円)	40,184	39,910	42,957	43,798
純 資 産 (百万円)	29,768	30,443	33,172	33,938

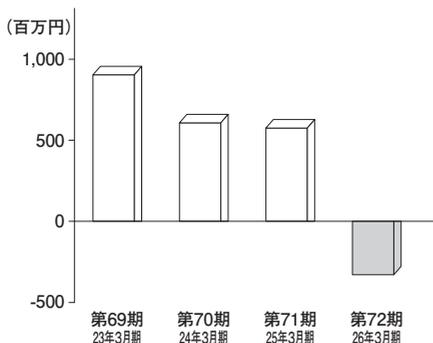
売上高



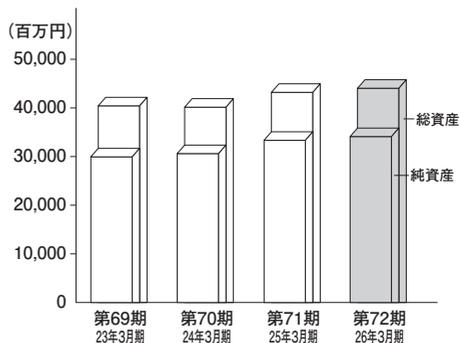
経常利益



当期純利益



総資産／純資産



個別財務諸表（要約）

個別貸借対照表

（平成26年3月31日現在）（単位：百万円）

科 目	金 額
（資産の部）	
流動資産	8,499
固定資産	35,298
有形固定資産	10,228
無形固定資産	63
投資その他の資産	25,007
資産合計	43,798
（負債の部）	
流動負債	3,882
固定負債	5,977
負債合計	9,860
（純資産の部）	
株主資本	25,618
資本金	1,313
資本剰余金	76
利益剰余金	32,774
自己株式	△8,546
評価・換算差額等	8,065
新株予約権	254
純資産合計	33,938
負債・純資産合計	43,798

個別損益計算書

（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）（単位：百万円）

科 目	金 額
売上高	13,612
売上原価	9,039
売上総利益	4,572
販売費及び一般管理費	4,772
営業損失	199
営業外収益	610
営業外費用	39
経常利益	371
特別利益	63
特別損失	666
税引前当期純損失	231
法人税、住民税及び事業税	86
法人税等調整額	12
当期純損失	330

（注）1株当たり当期純損失 19円66銭

個別株主資本等変動計算書

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本					評価・換算等 差 額	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金		
当 期 首 残 高	1,313	76	33,441	△8,544	26,287	6,655	230	33,172
当 期 変 動 額								
剰 余 金 の 配 当			△336		△336			△336
当 期 純 損 失 (△)			△330		△330			△330
自 己 株 式 の 取 得				△2	△2			△2
自 己 株 式 の 処 分			△0	0	0			0
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)						1,410	23	1,433
当 期 変 動 額 合 計	—	—	△666	△2	△668	1,410	23	765
当 期 末 残 高	1,313	76	32,774	△8,546	25,618	8,065	254	33,938

会社の概要（平成26年3月31日現在）

社名	名糖産業株式会社
本社所在地	名古屋市西区笹塚町二丁目41番地
設立	昭和20年2月
資本金	13億1,325万円
事業内容	食品・化成品の製造販売および不動産賃貸
従業員数	352名
主な事業所	支店 東京・名古屋・大阪・福岡 工場 名古屋・枇杷島・小牧・八王子・福岡
子会社	株式会社エースパーカー（愛知県小牧市） 名糖乳業株式会社（福岡県飯塚市） プリンスゴルフ株式会社（福岡県宮若市）

株式の状況（平成26年3月31日現在）

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式総数	21,265,000株
株主数	9,718名

役員（平成26年3月31日現在）

代表取締役社長	水谷彰宏
常務取締役	小島寛志
取締役	加藤重昭
取締役	瀧川敦志
取締役	三矢益夫
取締役	山下喜郎
常勤監査役	佐野佳之
監査役	寺澤弘
監査役	稲越千束

- (注) 1. 取締役山下喜郎氏は、社外取締役であります。
2. 監査役寺澤弘氏および稲越千束氏は、社外監査役であります。

幅広い年代にご支持頂ける 豊富なラインアップ!



アルファベットチョコレート



おいしさ
こだわり

自社工場でカカオ豆から一貫生産。
独特のカカオのコクと薫りを持ち味
とした本格派のチョコレート。

株式会社 エスベーカー



レモネードC

さわやかなレモンのおいしさがいっぱい。



果汁100%ゼリー

果汁本来のおいしさにこだわったゼリー。

株 主 メ モ

事業年度 定時株主総会 公告の方法

毎年4月1日から翌年3月31日まで

6月中

電子公告により行います。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告により公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

電子公告のホームページアドレス <http://www.meito-sangyo.co.jp>

上場証券取引所 株主名簿管理人

名古屋・東京

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

(お知らせ)

1. 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

2. 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

3. 配当金計算書について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただけます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

■株主様ご優待

毎年9月末(中間期末)現在100株以上ご所有の株主様へ当社商品または当社グループ会社商品を年1回12月上旬に贈呈させていただきます。

●100株以上	1,000株未満	…………	小売価格	1,500円相当商品
●1,000株以上	5,000株未満	…………	小売価格	3,000円相当商品
●5,000株以上	……………	…………	小売価格	5,000円相当商品

meito

名糖産業のホームページをご覧ください。

<http://www.meito-sangyo.co.jp>

環境に配慮し、植物油インキ
を使用しています。

